

遺伝子カウンセリング

家族性乳がんなどの乳がん高リスクの女性あるいはその家族に対して、必要な情報を提供し、今後の健康管理や検診の指導を行うために、遺伝子カウンセリングが行われています。例えば BRCA1 などの遺伝子検査を行うことができて、検査の意義、検査の限界、遺伝子検査を行わないことの意義、検査の確実性、遺伝子変異が子供に遺伝するリスク、心理的影響、保険や雇用者差別のリスク、予防策の選択と限界、他の血縁者と検査結果を共有することの重要性などについて十分な配慮がなされなければならず、実施には専門のカウンセラーを含めた診療体制が必要です。京都大学病院では遺伝子診断や遺伝子カウンセリングを実施していますので、詳細は遺伝子診療部のホームページを参照してください（<http://gc.pbh.med.kyoto-u.ac.jp/cligen/>）